



(株)矢田工業所（本社）

○本社所在地：愛知県名古屋市東区
 ○事業概要：金属製品製造業（板金塗装組立）
 社会インフラに関わる設備の部品製造
 エレベーターやエスカレーター関連部品
 電圧を調整して配電する配電用変圧器部品
 設備等に電気供給する為の電設用盤部品
 ○常時使用する従業員：216名
 （2025年9月時点）
 ○現在の売上高：37.8億円
 （2025年9月期）
 ○法人番号：2180001018501
 ○Web：<http://www.yadakogyo.co.jp>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ

代表取締役社長
野村憲司

【信頼される明るい会社】

創業以来、大手総合電機メーカー様をはじめ、様々なお客様と関わりを持たせて頂きながら国内中心に「変圧器」「昇降機」「配電盤」と現在の中核となる社会インフラ事業へと裾野を広げてきました。目標とする「売上100億円」に挑む中で、創業から変わらない想いで人の手を使う仕事の価値の素晴らしさを大切にしたいと考えています。工場の生産の自動化が進む時代だからこそ、職人の手が生み出す製品の価値を提供し、日本の産業に貢献します。高まる電力需給に対し電力供給網の一切の不安を払拭する為、製造プロセスを最適化したサプライチェーンの構築を実現し供給責任を果たし製品を届ける事が、我々からの約束です。企業としての雇用責任や社会的責任を果たしながら、テクノロジーとものづくり精神を込めた製造の仕組みを広げ、提案する企業として成長していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

環境対策とデジタル化推進による電力需要の増大に伴い、今後拡大する市場及び電力需給の社会的責任に対する円滑な供給網の構築が必須です。我々は新工場建設や既存設備のリフレッシュにより生産能力を増強し、元請各社の要望に対応します。元請企業の生産と国内の電力供給網に対して、弊社が完成品までの生産能力及び対応力を持ち成長していくことで電力供給網の不安を払拭し、2032年に「売上100億円」の実現を目指します。

課題

- ・遅延なく現場及び分工場との情報共有が出来る能力の強化（ネットワーク関係）
- ・完成品供給まで対応するフルセット生産体制（4M）の強化
- ・ビジネス領域のスケールアップに伴う社内体制の効率化と強化
- ・アセット管理（在庫等）の強化
- ・急な受注増加に対応するアウトプット工程の強化
- ・納期コントロールの強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場、既存設備のリフレッシュによる供給体制の高速化及び品質体制の拡充
- ・完成品対応までのフルセット生産体制によるビジネスの拡充
- ・滞留を完全防止するフルキット生産
- ・板金塗装組立の一貫生産体制
- ・アセット（在庫等）紛失等によるロスタイム削減の徹底
- ・短納期対応を可能にする製造マネジメント
- ・板金塗装組立の連携強化による事業拡大と持続的な企業成長

実施体制

- ・アセット管理（在庫等）に人員を割かない
- ・仕掛け品を極限まで無くし、在庫回転率を高める
- ・着手管理の徹底により急な発注にも対応可能とする
- ・納期遅れ、着手遅れが少なく清々とモノが流れる生産体制
- ・自社の生産能力及び対応力を上げて、お客様のボトルネック工程（制約）を手助けする
- ・人材育成（技術分野、環境分野、法規及びマネジメント分野）

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

【リスク課題】

目標とする「売上100億円」には、人の生活や産業を支える電力供給網の安定化という社会的価値もあります。実現のためには事業経営の大幅なスケールアップが必須であると同時に市場におけるコスト競争と供給リードタイムに大きな課題が懸念されます。これまで地道に取り組んできたアセット管理（在庫等）のリソースを最小限に抑えることとフルキット生産及び着手管理の徹底等に加え、社内の生産能力及び管理体制のアップデートや新規顧客獲得等による社内外の連携強化が我々の重点課題です。

1.新工場の新設及び設備投資による生産能力向上

各事業において、弊社がこれまでの事業経営のなかで蓄積したノウハウと技術を用いて元請各社の体制や対応の変化点に準じた生産能力を提供します。

- ①昇降機の新設・保守・リニューアルの全てのジャンルに部品の供給対応をしていきます。エスカレーター関連の床板部品の一括受注対応等。
 - ②配電制御事業においては変圧器、配電盤といった各製品の完成品対応を目指していきます。製罐、塗装、組立、配線、梱包出荷全てを自社完結でワンストップ対応等。
- 新工場の新設及び設備投資によるワンストップの顧客対応力強化やサービス品質の向上に努めています。

2.顧客対応力強化による自社の事業領域拡大

設備投資により市場の成長拡大及び顧客のニーズの変化に対応し、自社の各事業におけるソリューション強化及び拡大により更なる企業成長を目指します。

- ①昇降機事業では元請企業の変化に追従した生産能力及び対応力を強化。モダニゼーション案件（昇降機のリニューアル市場）の受注拡大に対応等。
- ②配電制御事業では市場の要求スペック及び規模の拡大に伴い、新規顧客獲得や既存顧客のニーズの変化に対応する自社の生産能力及び管理能力の強化。

